

草の根で政治を変えよう

日本共産党市議員団も全員参加

5月22日夜7時から高田雁木通りプラザで日本共産党演説会が行われ、日本共産党市議員団も全員が参加しました。

武田勝利氏は、今度の参議院選挙は「民主党は期待はずれ、でも自民党には戻りたくないというなかで行われる。今こそ政治の中身を変える絶好のチャンスだ」と訴えました。

井上さとし参議院議員は、日本共産党訪米の役割について触れ、核廃絶交渉開始の



合意を求めた要請文が非同盟諸国に配布された経過や要請文が力を発揮したこと、普天間基地は無条件全面撤去しかないと語り、米国の伝えたことなどについていきいきと語りました。日本共産党の良心の訴えが世界を動かしたことを知った参加者に大きな感動を与えました。

閉会の挨拶に立った橋爪議員は「草の根の力で日本共産党の勝利を実現し、政治をもっと前に進めよう」と訴えました。

閉会の挨拶に立った橋爪議員は「草の根の力で日本共産党の勝利を実現し、政治をもっと前に進めよう」と訴えました。



「出来レース」(マスコミなど)といわれてきました。ところが新聞報道にもあつたように、議長・副議長選挙では「第一、第二会派で調整して」(21日付上越タイムス)『統一候補』を立て、その『統一候補』が順当勝ち(同)しました。議長に選出された滝沢逸男(創風クラブ、選出後無所属)氏は34票、副議長に選出された岩崎哲夫(新政)氏は33票です。

議長はいま、二元代表制の一翼を担い、市民に信頼される議会、開かれた議会議をめぐっていくことが求められています。「なれあい」にならず、市民の代表として市長と渡り合う議会、公正な議会運営を実現していかなければなりません。そのため、日本共産党市議員団は全力をあげます。

これまで4年にわたって山岸行則氏が議長として「議会改革」の推進役を果たしてきました。退任に伴い、その「改革」の流れを止めることなく進化させるために、全会派・全議員が力を合わせることで議長、副議長の選出が求められていました。

議長は、日本共産党市議員団で、「村山市政を支える」議会ではなく、市民の立場で行政をしっかりとチェックし、積極的に提案する、場合によっては村山市長と共同していく議会にしよう、と、『出来レース』に挑戦しました。議長には橋爪公悦幹事長を立てました。開票のすえ、橋爪団長は10票、上野幹事長は6票を獲得。白票を含めると、『統一候補』に投票をしなかった議員が議長選挙では14人、副議長選挙では15人も出るといふ結果になりました。

日本共産党議員団の立候補に共感の声

これで本当に議会改革ができるのか、市民から疑問の声

議長・副議長は大きな会派で「調整」?

◎新しい議会構成決まる

文教経済常任委員会副委員長に上野議員
新幹線・並行在来線対策特別委員会副委員長に平良木議員

日本共産党議員団の委員会所属は次の通りです。

	常任委員会	特別委員会	その他
橋爪法一	総務	中山間地対策	消防事務組合
上野公悦	文教経済	第三セクター等	議会運営委員会
平良木哲也	厚生	新幹線並行在来線	議会報編集特別委員会
樋口良子	建設企業	中心市街地活性化	水道用水供給企業団議会

橋爪・上野両議員が議会運営について所信



議長選挙、副議長選挙の直前に行われた所信表明では、橋爪・上野両議員が議会運営と改革について力強く訴えました。橋爪議員は、「①公正、中立の立場で民主的、効率的な議会運営に努める、②秋にも制定されるであろう議会基本条例に沿った議会運営に最大限の努力をしていく。具体的には市民の皆さんのご意見、ご要望をしっかりと反映させる議会、議員間で大いに議論し、審議を尽くす議会、行政をしっかりとチェックすると同時に政策提言、議員立法をどんどんやっていく議会をつくっていく

上野議員は、橋爪議員の3つの約束はまったく同感であるとしながら、「議会基本条例に基づいて、議会の権能を高め、行政側としっかりと対峙いける議会をつくっていくことが重要だ」「昨今の厳しい政治経済情勢の中にあつて、市民の暮らし・福祉・安全、教育をしっかりと守り、発展させていく立場に立つことが議会に求められている」と訴えました。



③上越市議会の代表として信頼されるよう日夜研鑽を積み、努力していく」という3つの約束をのべました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 235 2010年5月30日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木哲也 525-9096 (上中田)